

第2回篠山市東日本大震災復旧復興を支援する市民ネットワーク次第

と き 平成23年5月25日(水) 午後2時～

ところ 篠山市民センター 催事場

1. 開 会

2. 災害支援に関する報告

(ア) 災害支援対策本部の動き

(イ) 市民災害ボランティア活動について

3. 意見交換

～今後の東日本大震災の支援に向けて～

4. その他

5. 閉会

篠山市災害支援対策本部の動き

➤ 「篠山らしい」支援のあり方について

他市町が実施していない「篠山らしい」受け入れ支援策を、各部署で検討している。例えば、農都を活かし、農業をしながら短期的に、若しくは長期的に、被災者の方の受け入れを行うなどが考えられる。

また、篠山らしさを活かし、お米など数品目に限って、主に南三陸町を中心に、被災地のニーズを確認して進めていく。秋に収穫された新米を中心として搬送する。

➤ 被災者の篠山市への受け入れについて

現在、被災地から篠山市へ移住したいと申し出ておられる方が2件あり、現在、物件等を案内している。

➤ 放置自転車を活用した支援について

被災地では、自転車が交通手段として利便性が高いため、篠山市所有の放置自転車を市民・団体と協働で、点検・整備し被災地へ送る。

案

東日本大震災復旧復興支援の取り組み 被災者支援物資送付

丹波篠山コシヒカリの新米を南三陸町へ送ろう

農都篠山としての震災復興支援プロジェクト

この秋、篠山市はカウンターパートの宮城県南三陸町の仮設住宅世帯に2011年産丹波篠山コシヒカリを送ります。支援米は市役所の全職員が一人一袋提供します。農家、市民にも広く無償提供を呼びかけます。

❖ 主な取り組み

- ❖ 市役所職員ひとり1袋
- ❖ 職員のうち農家については2011年産米のうちそれぞれ1袋
- ❖ 非農家の職員については農家の職員から買い取り、提出します。
- ❖ 農家、市民の皆さんにも同様の取り組みを呼びかける
- ❖ 支援米は玄米。米袋は統一したものを使用します。

❖ 行程

- ❖ (1) 丹波篠山コシヒカリ搬送プロジェクト計画策定と広報

2011年6月

- ❖ (2) 提供希望者及び希望数を調査及び集約・調整

- ❖ (3) 南三陸町と協議しながら搬送計画

- ❖ (4) 米袋の配布(篠山からの復興支援米であること、表示 所属・氏名を記入)

- ❖ (5) 日時を決定し、集荷場へ搬入

2011年9月下旬

- ❖ (6) 委託した運送業者により現地へ搬出、被災世帯へ配布